

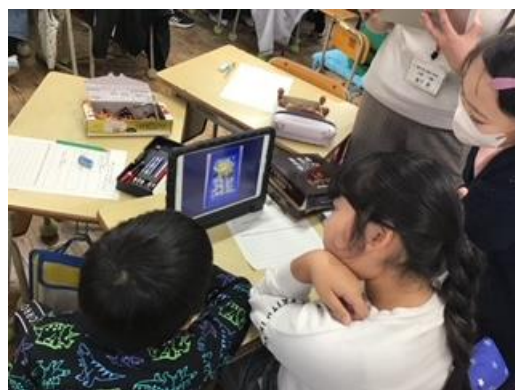


# アートに親しみ、楽しもう！

学校において「芸術（アート）」に関する教育はとても重要で、力を入れて取り組んでいる事の一つです。「音楽が大好き」「図工が大好き」という子どもも多くいます。子どもたちの作品を見て心を動かされることも多くあります。

先日、3年2組では、自分で集めた落ち葉や枝、木の実などを使った作品作りを行っていました。落ち葉や枝などをいろいろなものに見立てて、素敵な作品をつくり上げていました。作品を作っていく中で、子どもたちは様々なアイデアを出していました。作品作りに正解はなく、子どもたちは自分の発想を生かすために試行錯誤しながら通り組みます。授業の中では、3年生の子どもたちが友達作品に対して「この作品は〇〇を表現してるんじゃないかな」「この落ち葉の使い方はすごいね」など、しっかり評価し合っていました。

また、3年1組では音楽で「トランペット吹きの休日」の鑑賞の学習が行われていました。子どもたちは曲想を感じ取り、豊かに想像を膨らませていました。曲の感じ方も一人一人違います。「どこからそう感じたのか」「なぜそう感じたのか」を話し合うことで、自分にはなかった考えに触れることができます。どの学年でも素敵な作品や芸術作品に対する様々な気づきが生まれています。授業参観の折には、子どもたちの作品もぜひご覧ください。 【 3-1音楽 鑑賞の授業 → 】



【 3-2図工 友達の作品を鑑賞中 】



## 「ひとつのことば」

保健室の前に北原白秋の詩「ひとつのことば」が掲示してあります。言葉は人と人をつなぐ大切なものです。しかし、時には人の心を深く傷つける凶器にもなります。

一つの言葉で、その場の雰囲気が一変することもあります。緊張した場面で、誰かの発した一言で場が和むこともありますし、逆の場合もあります。言葉に勇気をもらうこともあれば、逆に自信を失うこともあります。

ひとつのことばを	ひとつのことばを	やさしいことばは	きれいなことばは	ひとつのころを	ひとつのことばは	ひとつのことばで	ひとつのことばで	ひとつのことばで	ひとつのことばで	ひとつのことばで	ひとつのことば
美しく	大切に	やさしい心	きれいな心	持っている	それぞれに	泣かされる	楽しく笑い	心が痛む	頭が下がり	なかなか	北原白秋

12月の生活目標は「きれいな言葉づかいをしよう。」です。互いのことを認め合うためには、丁寧に言葉を重ねていくことがとても大切です。日頃、どのような言葉を使っているのか、相手の心を傷つけていないかなど、しっかり振り返る機会にしたいと思います。